

SSKP

2021年7月

はれのちくもり

第134

別冊ピアス通信 第53号



この通信では、ピアス（就労移行支援事業・自立訓練（生活訓練）事業・就労定着支援事業）のトレーニングやイベントを中心に、「働く」ことに関する情報を発信していきます。

巻頭言 就労トレーニングの今①

ピアスは開所して今年で24年目になります。これまで多くの方に利用していただきながら、就労支援のノウハウを構築してきました。

昔も今も、日々メンバーが取り組んでいるのは「就労トレーニング」と言われる各部門での作業です。体を動かし、時には汗を流しながら様々な作業に取り組んでいます。働く力の土台となる体力や気力（集中力・持続力）は、頭よりも体を使うトレーニングに繰り返し取り組むことで養われ、また本人の手応え（実感）を伴ったものとなります。今号と次号では、実際に行われている就労トレーニングの様子をメンバーの声をもとに紹介したいと思います。まずは開所から現在まで変わらずある「厨房部門」と「環境整備部門」、そして一番新しい就労トレーニングである「NHK 学園でのお弁当販売」について聞いてみました。

厨房部門 ～弁当配膳・配達・食器洗浄などの立ち仕事～

決まった時間までに、注文数分の弁当箱を揃えたり、配達先別にコンテナに詰めたり、請求書の準備をしたり・・・などなど、『役割』というプレッシャーのある作業を行っている3人に、座談会形式でお話を聞きました。



- 厨房は、ピアスのトレーニングの中では実際の仕事に一番近いと感じます。
- 実際にお客様と接するし、調理のスタッフや配達の運転手など支援者ではない人たちと一緒に仕事をする時間になるからです。配達の時、車内で世間話をするのは楽しい時間です。また、配達時間に間に合わせるためにいつも時間を気にします。時間を意識することが身についたし、緊張感を持って仕事をしています。このように厨房は「働く」ことのイメージが持ちやすいトレーニングだと思います。
- またチームで仕事をするというのも厨房の特徴です。午前はお弁当の配膳・配達、役割を担当したりします。一緒に作業をする中で、他の人の早さ、声の出し方、やり取りの仕方など仕事ぶりを見ることで参考にし、いい刺激になります。人と切磋琢磨でき、自分も頑張ろう！と思えるのも厨房ならではの、です。また、「自分がこれをやって欲しいな」と思うことを人にやるようにもなり、一緒に仕事をする相手のことを考えるようにもなりました。役割を担当すると、伝え忘れや伝え方の曖昧さが全体に影響を及ぼすので、その場に合わせた正確に伝わる伝え方はかなり鍛えられたと思います。役割は大変ではあるけれども、自分の働きぶりがチーム全体を動かすのでモチベーションが上がります。
- 金曜日の午後は、メンバーが中心になって作業をします。自分達だけでタイムキーパーを決め、全体を把握しながらリーダーシップを執るという経験をしました。そんな場面での自分について知ることができました。
- 私は清掃作業などの一人作業が向いていると思っていたのですが、厨房を経験してみて、人と作業することの楽しさ、みんなでやることで活気が出て自分のモチベーションが上がることも気づき、人と作業することも向いていると感じるようになりました。一人でやるNHK 学園でのお弁当販売の実習では逆に寂しさも感じました。
- トレーニングの中にバリエーションがあり、いろいろなことを試すことができるのが厨房だと思います。

環境整備部門 ～館内・外部マンションの清掃。道具の使い方など清掃の基本を覚える～

ピアスの館内清掃のほか、外部のマンション清掃も取り組んでいるお二人にインタビューをしました。



環境整備部門ってどんなところ？

Aさん：自分でペースを決めながら1人で作業をすることが特徴だと思います。

Bさん：外で作業することで実践的なトレーニングができています。

取り組んで力になったことは？

Aさん：日々の作業が同じ内容でも、その日の体調が作業に影響するときがあります。なぜそうなるかを考えることで、自分のストレス源や体調変化の要因を考えるきっかけになりました。

Bさん：もともと体力に自信がなく、最初は疲れから体調を崩す時がありましたが、立ち作業を続ける中で体力がついたと思います。また体調が悪い時や作業が終わらない時はSOSを出す練習をするようにしていて、これも続けるうちに少しずつできるようになってきました。

大変だったことは？

Aさん：最初は、作業・体力の両面に負担があり、強い眠気が起きましたが、休憩を取ることに抵抗があり、むりやり作業していました。しかし、どうにもならない時があったので、段々と必要な時は休憩するようにしました。自分の状態を受け入れられるようになったのは良かった点です。

Bさん：人や場に慣れるのに時間がかかるので、特に外部のマンション清掃に初めて行く時はとても緊張しました。

やってうれしかったことは？

Aさん：マンション清掃は、体力や作業時間の制限が不安でしたが、やりきった時は充実感がありました。またピアスから外に出て作業することで、自分が企業実習や就職に向けてステップを踏んでいる実感を得られました。

Bさん：体力がつくことと、環境部門だけではありませんが、わからない時に質問しやすいことです。

NHK 学園でのお弁当販売 ～新しいトレーニングです。実習のように職場体験できます～

今年4月から始まった新しいトレーニングです。販売時間までに20食のお弁当を配膳し、職員と一緒にNHK学園のエントランスでお弁当を販売、接客をします。その後は当日の売り上げ計算をする、など、始めから終わりまで基本的には一人で責任を持って仕事をするという、職場に近い体験をすることができます。

今回、このトレーニングを3週間体験したメンバーに話を聞きました。



力になったこと

一人で全体を見られるようになったと思います。視野が広くなりました。配膳が間に合わないときは、自分で判断しヘルプを頼みます。全体状況を確認しつつ、自分主導で作業を進める経験になりました。

うれしかったこと

始める前は自信がなく不安だったけど、やってみると思っていたよりなんとかなったことです。目安の時間から超過することなく、時間通りに作業を進めることが出来ました。

また、お客さんの顔が見られたのも良かったです。普段の弁当配達だと、食べる方が受け取るとは限らないので、今回は食べる人と直接話せたこともうれしかったです。

大変なこと

その日のメニューによって配膳の難しさが違うことです。トレーニングを始めたばかりの時は、どのくらい時間がかかりそうか見通しを立てるのが大変でした。

アピール

作業の責任が全部自分にあるトレーニングです。自分が中心で出来る作業はピアスでは珍しいと思います。自分主導で出来るので「やったぞ！」という達成感を得られる貴重な経験になります。



ピアス OB インタビューリレー



今回のリレー走者は、秋庭 功さん。秋庭さんは、八王子市にある介護老人保健施設「ウエストケアセンター」で働いています。

働き始めてから4年と9ヶ月になるそうです。

仕事内容は、シーツの交換がメインですが、他にも車椅子の点検、入浴の介助や食事の配膳などをやることもあるそうです。

電話でインタビューをさせていただきました！

○仕事をしていて嬉しかったこと

利用者さんに感謝をされる時です。利用者さんから頼まれたことをお手伝いし、嬉しいなと思います。また、今はコロナの影響で減ってしまったけれども、利用されている方々は戦争の体験の話など、色々な話を聞かせてくれます。そんな時間も楽しみの一つです。時期によっては短期利用をされる方もいて、その方が利用に来ることが楽しみだったりもします。

○仕事を始めて大変なこと

利用されている方が亡くなるのは辛いと感じます。また、体力的にもけっこう大変な仕事です。なので、早く寝るなどして体調を崩さないように工夫をしています。

○ピアスの取り組みで役に立ったこと

厨房でのスタッフとのやり取りや役割の中で、働く時のコミュニケーションを鍛えられたと思っています（あまり配膳とかの印象は残っていないです笑）。また、くにたち苑実習で仕事内容にやりやすさを感じ、こういう仕事がいいなと思いました。エプロンを持って上の階へ行ったときに感謝の言葉をもらい、人のためになっていることを実感しました。ちょうどその頃祖母が亡くなったこともあり、こういう仕事で人の役に立つのもいいなと思いました。

○安定して働くために気をつけていること

体調に気をつけています。寝る前にストレッチをしたりして、睡眠をしっかりとれるようにしています。それと、仕事を楽しむことが大事かなと思っています。自分にとっては、利用者さんと会うのが楽しみの一つになっています。

○支援機関の使い方のコツ

入職したすぐはジョブコーチに入ってもらっていました。それでスムーズに仕事に慣れていけたと思います。その後は月1回の面談をオープナーとしています。必要な時は職場との交渉をしてもらったりしています。

ピアスの定着支援事業は3年使いました。ピアスに来て、みんなと会えることが楽しみでした。

○将来の夢（これからやりたいこと）

先々では介護福祉士の資格を取れたらいいなと思っています。

ピアスに来るたびに、みんなのところに寄っては顔を見て声をかけていってくれる秋庭さんに、私たちスタッフもいつも元気をもらっています。インタビューをしながら、人と接することを大事にされている秋庭さんらしいコメントだなあと感じました。

今回、オープナーとの面談の日にこのインタビューをさせて欲しい、とお願いをしました。「増田さんのお願いならしょうがないなあ」と笑顔で引き受けてくださいました。そしてその日のうちに写真も一緒にパチリ！

秋庭さん、お忙しい中ありがとうございました。（増田）

◆ピアスからのお知らせ◆

～ 定着支援事業をご利用のみなさまへ ～

この4月より、就労定着支援事業の仕組みが変わりました。みなさん個々の利用状況を「支援レポート」にし、お互いに共有をする仕組みとなりました。現在ピアスでは、面接などでやりとりした状況を紙面にし、確認をしてもらうことにしました。

より充実した支援が今後も提供出来るよう活用したいと思っています。

支援レポートの共有については、ぜひみなさまからの要望もお聞かせください。

●今後の予定●

8月14日（土） オンラインOB会（zoom） 10:30～ 1時間ほど

※OB会は、毎月第2土曜日の午前中に開催しています。

8月21日（土） フォローアップCES 10:00～

※場所はピアス多目的室で行います。

～ その他のお知らせ ～

多摩棕櫚亭協会では、新型コロナウイルス感染症防止として、法人建物入り口にアルコールスプレーの消毒液を置いています。手洗いも含め、入館時の手指消毒のご協力をお願いしています。また、来館者の記録のため、入館の際は、お手数ですが来館者名簿への記入をお願いしています。1月からは、体温の記録もお願いしています。自宅で測った体温もしくは、名簿近くに置いてある非接触型の体温計での計測をお願いします。

今後も建物内の人数が密になることを避けるため、面談の変更や訪問の延期をお願いすることがあります。今後も安全にみなさまにご利用いただくため、重ねてご協力をお願いします。

編集後記

オリンピックの結果に目をやりながら、この編集後記を書いています。東京オリンピック開催が決まったのが2013年でした。2020年（2021年）がこのような社会状況になるとは、微塵も思っていませんでした。当時から心に秘めていた『オリンピックをみんなで観たい！パブリックビューイングしたい！』という夢は叶わず、でしたが、今ピアスに身を置いている縁をしみじみ思いながら過ごす夏となっています。これから暑い日が続きます、皆さまご自愛のほどを。（長野）

ホームページで最新情報をお届けしています。

→ www.shuro.jp

または『棕櫚亭』で検索！



社会福祉法人

多摩棕櫚亭協会



【編集】 国立市富士見台 1-17-4

社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会

就労移行支援事業所ピアス内

はれのちくもり編集委員会

Tel 042-575-5911

【発行】 特定非営利活動法人

障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 世田谷区祖師谷 3-1-17-102

Tel 03-6277-9611

【定価】 100円